看図アプローチ協同学習で克服する和食給食食べ残し

渡辺 聡・計良志織（札幌市立手稲山口小学校）
石田ゆき（日本医療大学）・鹿内信善（福岡女学院大学）

キーワード：看図アプローチ協同学習、和食給食、食べ残し

1. 実践の目的とその背景

本実践の目的は、和食給食食べ残しを克服する授業モデルを提案することである。

札幌市では札幌らしい特色ある食育を推進している。そこで提唱されている「さっぽろ食スタイル」は、栄養バランスのとれた伝統的な食生活である「日本型食生活」を基盤として、北海道の食材と環境に配慮したものである。札幌市教育委員会は、学校給食に郷土料理や行事色を取り入れた和食献立を積極的に取り入れることを推奨している。

しかし本校では、平成25年度当初、配食量に対する残食割合は、和食献立提供時が他の種類の献立提供時より著しく多かった。1学期（4月9日～7月24日）の残食割合が、約15%（札幌市栄養士が基準とする設定値）を超えた和食献立回数は、以下のようであった。

- 主食（白米飯・まぜご飯を含む）メニュー： 8回（和食以外のメニュー時：5回）
- 主菜メニュー： 1回（和食以外のメニュー時：2回）
- 副菜メニュー： 5回（和食以外のメニュー時：1回）
- 汁物メニュー： 11回（和食以外のメニュー時：1回）

和食献立提供回数（麺食類提供時を除く）は、1カ月の約半分弱ある。献立メニューにもよるが、児童の和食献立に対する消極的な態度は、明らかである。また、ごはん（白米が茶碗に盛られて提供された場合）の残量は多い。

一方、和食は世界中から、栄養バランスの素晴らしさについて称賛されている。世界から注目されている和食のよさに気づき肯定的な感情をもたせるため、考えを広げ・深める学習方法として最適な協同学習の考え方を採用する。とくに看図アプローチ協同学習を取り入れた授業モデルを提案する。

2. 実験授業の方法

鹿内は、多くの看図作文指導方法を開発してきた。看図作文の研究成果は、作文指導のみならず様々な教科の授業に活用されている。とくに看図作文研究から生まれた看図アプローチ協同学習は「協同学習の新しいかたち」としてその効果の検証がすすめられている。看図アプローチ協同学習とはビジュアルテキストの読解を取り入れた協同学習のすすめ方である。本実践ではビジュアルテキストを2種類用意し、それぞれを活用した授業モデルを構成した。第1は看図作文型絵図活用授業モデル。第2はグラフ活用授業モデルである。

いずれのモデルでも授業の構造は共通している。基本構造は次のようになっている。

ビジュアルテキスト（絵図またはグラフ）の呈示→個人によるビジュアルテキストの読解→協同によるビジュアルテキストの読解→全体交流（考えのまとめ）

ビジュアルテキストの読解は次の活動によって行われた。

- ①変換：テキスト中で記述されている概念や内容を別のことばに言い換えたり、ある種の記号表示法を他の表示法に変えたりする活動。
- ②要素関連づけ：テキストを構成している諸要素を相互に関連づける活動。
- ③外挿：テキストで記述されている内容を越えて、結果について推測したり結果を予想したりすることにより、発展的に考えていく活動。

ビジュアルテキストの読解は基本的にはこの3つの活動によってなされる。ただしテキストがグラフの場合は、グラフに脂質・たんぱく質などの言語変換がすでに書き込まれている。このためグラフをビジュアルテキストとした授業では、要素関連づけ・外挿が主な活動となる。

両授業モデルとも、和食に対する積極的な態度を育成するために、「口中調味」という和食独特の喫食方法も指導する。実験授業は3クラスに行った。看図作文型絵図活用授業2クラス、グラフ活用授業1クラスである。授業者は渡辺、学習者は5年生。授業はいずれも午前中に行った。授業日給食メニューは和食。主菜は「さんま南部揚げ」、副菜は「あげ入りおひたし」である。

3. 結果と考察

残食量÷提供量＝残食率を指標として授業の効果を見ていく。絵図活用授業を受けた1クラスのごはん残食率は14.3%であり、改善は見られなかった。この原因解明と授業モデルの洗練は今後の課題である。しかし、絵図活用授業を受けたもうひとつのクラスおよびグラフ活用授業を受けた1クラスのごはん残食率はともに2.6%であった。事前授業を受けずにこの日のメニューを喫食した4年生全体のごはん残食率は11.0%であった。この値と比べても残食率2.6%は顕著な改善と言えるであろう。

和食給食食べ残しを克服する指導は継続的に行っていかなければならない。その場合、同じ方法を繰り返すことは現実的ではない。今回構成した2つの授業モデルをさらに洗練し授業レパートリーの中に加えていきたい。

【参考文献】

- 鹿内信善 2013 『協同学習ツールのつくり方いかし方ー看図アプローチで育てる学びの力ー』 ナカニシヤ出版
- 鹿内信善 2014 『見ることを楽しみ書くことを喜ぶ 協同学習の新しいかたち●看図作文レパートリー●』 ナカニシヤ出版